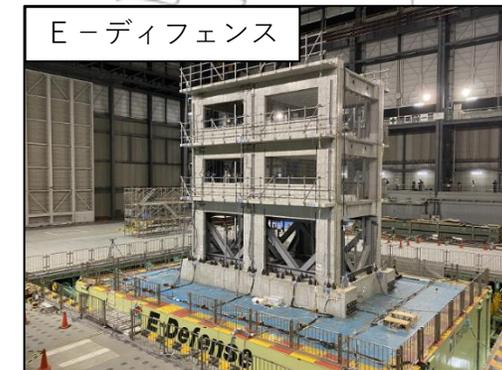


兵庫県南部に位置する三木市。深い歴史と豊かな自然に恵まれた市内には、戦国時代の史跡や重要文化財を有する寺社、四季折々の絶景が見られるスポットが点在しています。日本酒造りに適した酒米の最高峰「山田錦」の生産量日本一を誇るほか、ゴルフ場の数が西日本最多の「ゴルフのまち」や「金物のまち」としても知られています。

また、阪神・淡路大震災から30年が経ち、市内には、兵庫県の広域防災拠点である三木総合防災公園をはじめ、兵庫県立広域防災センターやE-ディフェンス、E-アイソレーションがある「防災のまち」としての取組を進めています。



本市の紹介



現状と
課題

- ① 昨年の元日に発生した能登半島地震では、多くの方々が避難所生活を余儀なくされ、避難所での生活環境の改善が課題となりました。とりわけ、トイレ問題については、上下水道管が破損し、水が流れないトイレを使用した結果、便器のみならずトイレ内が大変な状況となる事例が多く存在しました。
- ② 災害時、停電や断水等によりトイレが使えなくなり、圧倒的にトイレが不足します。
- ③ 劣悪なトイレ環境→トイレ我慢→飲食我慢→体調悪化の連鎖となり、せっかく助かった命が危険にさらされます（災害関連死）。
- ④ 三木市は、マンホールトイレの整備や簡易トイレなどの備蓄を行っていますが、更なるトイレ対策が必要と考えています。

これまでの
取組

マンホールトイレの整備



簡易トイレや凝固剤の備蓄

事業の
目的

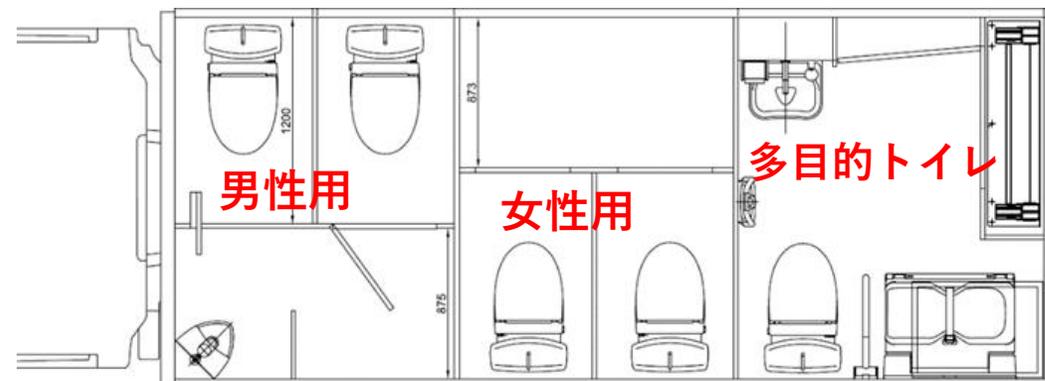
- ・自走式水洗トイレカーは、必要な場所への自走が可能など機動力が優れており、一日当たりの処理能力（約1,000回）も高く衛生的であるため、避難者の災害関連死防止につながる有効な手段として注目を浴びています。
- ・トイレカーを所有し、自治体間での相互の助け合いによるトイレ問題の解決に取り組んでおられる自治体も増加しており、「防災のまち」掲げる市として、市内における災害対応はもとより、大規模災害時に被災地の支援活動を積極的に行うことができます。

事業
内容

- ①自走式水洗トイレカーの購入
 - ・大型トイレカー 3 tクラス
 - ・普通免許（中型車 8 t）で運転可能
 - ・個室4室・多目的トイレ1室
- ②トイレカーを所有する自治体と災害時応援協定を締結
- ③トイレカーの管理・運用

災害時：避難所で早期のトイレ設置、大規模火災時の現場で使用
被災地への支援活動

平時：市の各種イベントでの使用、防災訓練などで災害時のトイレの重要性を啓発



トイレカーの主な設備

【主な設備】

- ・洋式便器5基(温水洗浄便座)
- ・小便器1基
- ・多目的トイレ(車椅子、オストメイト対応、おむつ交換台、ベビーキープ)
- ・車椅子用升降リフト
- ・ソーラーパネル、リチウムイオン電池(外部給電)
- ・エアコン(多目的ルーム)
- ・浄水設備
- ・約1000回使用可能

快適に使える



個室 洗浄便座付き簡易水洗



小便器

停電でも使える



ソーラーパネル

誰でも使える



オストメイト対応便器



おむつ交換台



ベビーキープ



車椅子用升降リフト

得られる
成果

【解決される課題】

- 避難所等における衛生面と快適性の向上
(個室で停電時でも使える衛生的な洋式水洗トイレ、車椅子やオストメイト対応)
- 全国の被災地への支援活動 (自治体間の相互応援・国や県の要請)
- 平時は、市の各種イベントでの使用や展示を通し
災害時のトイレの重要性の啓発、防災意識の向上

寄附の
メリット

【企業様のメリット】

- SDGsへの積極的な取組や社会貢献を全国に発信することによる企業価値の向上
- 協力いただいた企業様へは、市ホームページ等に企業名を掲載
- 市長出席の感謝状贈呈式

トイレカー
(イメージ図)